

スピーカーを5台接続する場合の注意点は？

A.

インピーダンスと出力に注意が必要です。

接続方法によって「音が出ない/小さい」といった問題が起こる可能性があります。

ローインピーダンス接続（注意が必要）

使用例：audio-technica AT-DA05（出力5W）

接続イメージ

- ・L側：スピーカー2台
- ・R側：スピーカー3台

結果

- ・ 2台接続 1台あたり約2.5W
- ・ 3台接続 1台あたり約1.6W

インピーダンス自体は問題なし

ただし 出力が小さすぎて音量不足になる可能性大

ハイインピーダンス接続（おすすめ）

使用例：YAMAHA PA2030a（60W）

接続イメージ

アンプ スピーカー5台（並列接続）

結果

- ・ スピーカー：8W × 5台 =40W
- ・ アンプ出力：60W

アンプ出力 > スピーカー合計 安定動作OK

ハイインピーダンスのメリット

- ・ アンプ1台で複数台接続できる
- ・ 配線がシンプル
- ・ スピーカーごとに音量調整（タップ切替）が可能

結論

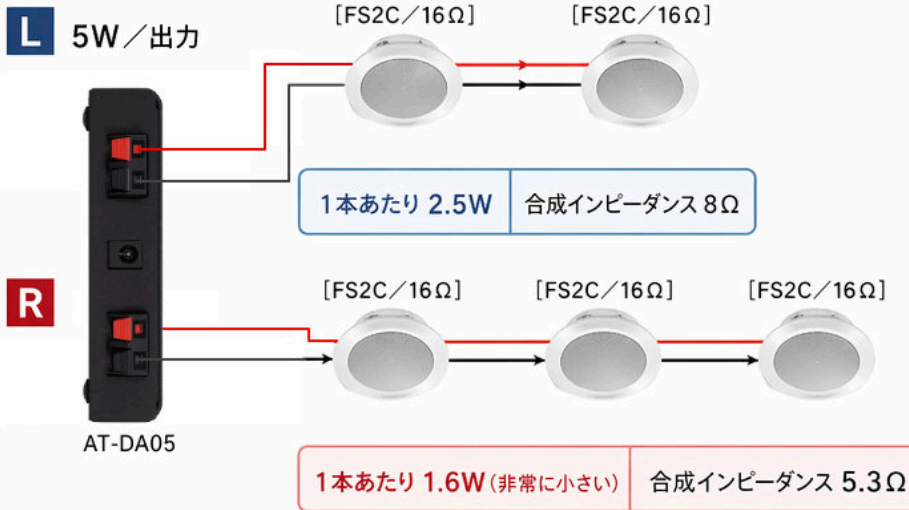
スピーカー5台の場合

ハイインピーダンス接続が最も安全で確実です

音響機器

■ ローインピーダンス接続 (注意が必要)

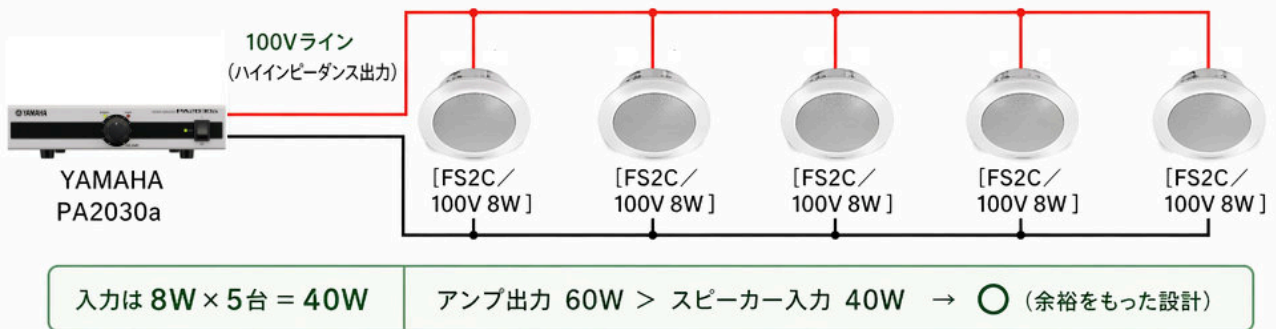
アンプの例： audio-technica AT-DA05 出力 5W (1chあたり)



インピーダンスは問題ありませんが、1.6Wではスピーカーをドライブさせるには非常に厳しいです。

■ ハイインピーダンス接続 (おすすめ)

アンプの例： YAMAHA PA2030a 60W (ハイインピーダンス出力)



✓ ハイインピーダンス接続のメリット

- 1台のアンプで複数のスピーカーを接続できます。
- 配線がシンプルで、一般の方でも扱いやすい構成です。
- スピーカーごとにトランスタップを搭載しており、固定値で音量 (出力) を調整できます。

スピーカー背面のトランスタップ (例：FS2C 100V 8W)



⚠️ まとめ・ご注意

- ローインピーダンス接続で5台を無理に接続すると、1台あたりの出力が小さくなり、十分な音量が得られません。
- 5台以上のスピーカーを接続する場合は、ハイインピーダンス接続のアンプを使用することをおすすめします。
- 設置環境や用途に応じて、適切なアンプと接続方法をお選びください。

導入・買い替えをご検討中の方へ

機材の組み合わせや設置環境によって最適な構成は異なります。
当店では**ご購入前提のお客様に限り**、機材選定のサポートを行っています。

- 具体的な導入予定がある方
- 機材の購入をご検討中の方

添付ファイル:

一意的なソリューション ID: #1178

製作者: 猶崎 恵太

最終更新: 2026-04-24 11:43